

群馬県の洋風建造物



中之条町、田吾妻第三小学校

群馬県教育委員会

群馬県の洋風建造物



群馬県教育委員会

序

明治時代は、東アジア文化圏を根幹とした江戸時代までのわが国のあり方に対して欧米との関係を主軸に据えるという大転換をなした時代であり、政治・経済・文化そして一般の生活にまで、日本がかつて経験したことのない激変をもたらしました。まさに「疾風怒濤シヨクカウ・フツト・ドコウの時代」といえましょう。明治初期から一世紀以上を経過した今日まで、当時の「欧米諸国に追いつき追い越せ」という目標は脈々として継承され、近代日本の原意識を形成してきたといえましょう。

さて、明治の遺産は各分野で生きつづけているとはいえ、建造物のように具象的な存在については時間の経過と共に次々と姿を消してしまいます。群馬県教育委員会が昭和52年度事業として、多くの県民の御協力と調査員の方々の御尽力を得て「洋風建造物調査」を実施しましたのも、この重要な「歴史の生き証人」ともいべき文化財が空しく消去することに大きな危惧を感じたからです。この調査をもとに、昭和53年度には三件の洋風建造物を重要文化財として県指定するはこびとなり保存にも目途が立ちました。今年度は調査資料を広く公開してほしいという要望にお応えして報告書を刊行することになりました。

本書がみなさまに有効に活用されることを念願するとともに、文化財の保護に御理解と御協力をお願い申し上げます。

昭和55年2月1日

群馬県教育委員会

教育長 横山 巖

目 次

序

目 次

洋風建造物調査実施要綱	1
群馬県の洋風建造物概観	2
I 公共建造物	4
II 学校建造物・教会建造物	11
III 住宅建築（含、医院）	17
IV 店舗建築（含、銀行等）	22
V 工場関係建造物	26
VI 倉庫その他の建造物	34

洋風建造物調査実施要綱

1 趣 旨

洋風建造物は近代社会成立期の貴重な遺産であるが、雨量の少ない西洋的風土に適した建築工法と時的にも建替えられる年月を経過しているため、屋根・壁面等の老朽化が甚しく、急速に姿を消そうとしている。

そこで、全県下にわたり実態を調査し、保護のための基礎資料を得る。

2 調査主体者 群馬県教育委員会

3 調査協力機関 各市町村教育委員会

4 調査期間 昭和52年4月1日～昭和53年3月31日

5 調査員

桑原 稔	豊岡高等工業専門学校助教授	岩井章二	前橋工業高等学校教諭
村田敬一	藤岡工業高等学校教諭	安齋信嘉	前橋工業高等学校教諭
茂木嘉夫	高崎工業高等学校教諭	伊藤初幸	桐生工業高等学校教諭
茂原寿雄	高崎工業高等学校教諭	堀口義雄	桐生工業高等学校教諭
江原哲二	前橋工業高等学校教諭	渡辺正春	長野原高等学校教諭
石黒由美	前橋工業高等学校教諭	峯川一郎	長野原高等学校教諭

6 調査対象 明治・大正期を中心として建造された洋風建造物。

- (種別) ・公共建造物(学校・役所等)
・民間事業所(工場、商店等)
・住宅建築
・その他(倉庫、橋梁等)

7 ま と め

- (1) 調査表・図画・写真の作成並びに保存
- (2) 報告書「群馬県の洋風建造物」刊行

群馬県の洋風建造物概観

昭和52年4月から昭和53年3月までの調査期間において把握できた群馬県の洋風建造物106棟の時代及び性格的分類は次のとおりであった。

種 別	明治期	大正期	昭和初期	計
公共建造物	3	6	8	17
学校建造物	4	2	2	8
鉄道関係建造物	3	1	2	6
教会建築	1	2	—	3
住宅建築	1	4	3	8
医院建築	2	7	3	12
店舗建築	—	6	5	11
金融関係建築	—	6	1	7
工場関係建造物	13	4	1	18
倉庫その他の建造物	2	10	4	16
合 計	29	48	29	106

公共建造物では、重要文化財・旧群馬県衛生所、前橋刑務所、蚕糸試験場の3件が明治期のものであるが、いずれも貴重な歴史的遺産である。このうち、旧群馬県衛生所は現在桐生市の管理下にあり良好に管理されているが、前橋刑務所は内部の施設が全て取壊され一部の木造雑居房が明治村（愛知県）に移築されているだけで現在では煉瓦造りの外壁並びに正門が残されているにすぎない。また、蚕糸試験場養蚕部は、施設が昭和55年4月をもって筑波学園都市（茨城県）へ移転が決定しており、現在の施設は取壊される予定である。養蚕部群馬の中心的施設として県民に親しまれてきただけにここで姿を消してしまうことは残念である。特に、庁舎（事務棟）は保存状態も良く洋風木造建築としても質が高いので保存並びに活用が望まれるものである。大正期の作品としては、桐生倶楽部の管理状態が良好で構造的にも興味深いものがある。昭和初期のものでは、群馬県庁が「復興式」の典型として注目され、ルネサンス式県議会議事堂が失われた現在、極めて貴重な建物といえよう。

学校建造物は、教育を国の根幹と考えてきた吾が国

に相応しく、各市町村では小学校をはじめとして学校はその土地のいわゆる「一等地」に建造され、建物にも力が入られ長野県の開智学校をはじめすぐれた洋風建造物が全国に残されている。しかし、本県では学校建造物の保存はほとんどなされず、次々と建て替えられて姿を消している。残存しているものでは、当初の構造を良くとどめている旧吾妻第三小学校（昭和53年まで中之条町役場として使用）が県指定され、その保存にも目途が立っている。

鉄道関係建造物では、わが国最初の私設鉄道として明治17（1884）年全線開通した高崎線、明治22（1889）年開通した両毛線等古い鉄道の歴史をもつ本県には明治・大正期の建造物が多かった。しかし、技術革新の影響を受けつつ施設の更新が相継ぎ、現在ではほとんど姿を消してしまった。駅舎としては、大正期の建造になる高崎駅、前橋駅が当初の姿をよくとどめているが、上越新幹線の建設に伴い高崎駅の存続が懸念される。また、碓氷峠の通称「めがね橋」も煉瓦造りのアーチ建造物として貴重なものである。

新島襄、内村鑑三等すぐれたキリスト教者を生んだ本県には教会建築も多い。木造では沼田教会、石造では安中教会がすぐれている。特に、安中教会は大谷石を主材とし、十字型をマスタープランとして建てられたもので、内部の構造としても注目すべき点を多々有し、きわめてすぐれた教会建築である。

住宅建築としては、店舗や医院の場合と同様いわゆる「看板建築」が多い。これは、生活そのものまで欧風を取り容れなかった日本人の外国文化摂取の態度を良く示すもので、外観はモダンな洋風としても、内部は畳敷で床の間を有するといった場合が多い。その上、生活の必要に応じて改造も著しい。中では、県指定の旧アメリカンボード宣教師館（共愛学園共和館）が、米人宣教師が居住したという歴史を反映して、最も本格的な西洋建築である。須藤家住宅も荒廃が著しいが、長く外国で生活したことのある方が設計し居住したために本格的西洋建築に近い構造を有する。

店舗と医院は、全くの「看板建築」であり、店舗に付随した居住空間並びに診察室に続く居住空間ともに和風である。ただ、本県の場合、「医院」と独立した分類をしたのは、医院建築の中に洋風の外観を呈する建物が極めて多く残っているからである。これは、明治以後の医療が西洋医学を中心とした証左であり、その急速な浸透ぶりを示すという点で重要である。医院としては旧今村医院が原型を良く保存し、店舗としては旧佐藤藤三郎商店が豪勢な造作を残している。また、店舗の分野に含めても良いと思われるものに、銀行などがあるが、商売柄大金を扱うためか堅固なものが多いので別個に分類した。旧東海銀行桐生支店や旧安田銀行伊勢崎支店のように保存状態の良いものが多い。

工場関係建造物では、全国的にも名高い旧富岡製糸場や旧新町屑糸紡績所及び旧上毛モスリンなど織機関係が多い。県指定の旧上毛モスリンは事務所だけが残り、工場関係は全て取壊されている。しかし、富岡製糸場や新町紡績所は、現在でも総合的に維持され、産業史上極めて貴重なものである。現在でも操業されているだけに、指定などは難しいものがあるが、今後とも維持されていくことを願うものである。その他、旧館林製粉も良く維持管理されている。

倉庫等でも、養蚕・製糸に関連したものが多く、一

般建造物では、木骨レンガ造りは明治の時代と共にほぼ終焉をむかえるが、大正から昭和初期にかけて煉瓦造りの倉庫が多く造られているのは面白い現象である。その他、現在みどり幼稚園として使用されている高崎歩兵第15連隊で使用された兵舎は、本県唯一の軍関係遺構で極めて貴重な意義を有する。また、伊勢崎消防署の望楼や野田六商店の煙突なども、現在では機能しなくなっているとはいえ、煉瓦造りの堅固なもので、歴史的遺産としてだけでなく、土地の人々にとっては独特の感慨をもって朝夕目にする点景として生きつづけている。

明治に始まる近代日本の歩みは、歴史上特筆される重大な時代であるが、それだけに生活全般を含めて変化の速度は著しく、文化現象としても、次々に、塗り変えられ、改廃され、近い時代にも拘わらず、具体的な姿はとらえられなくなっている。「文明開化」=「欧化主義」とは、教科書のうえだけの抽象的概念になってしまう恐れが生じている。この調査が行われ、報告書が刊行されるわずか2年ほどの間に、すでに姿を消した洋風建造物は2〜3件に止まらない。何を、どう保護し、どのような形で後世にバトンタッチするのか、われわれは結論を迫られているのである。

(文化財保護課)

県内の指定洋風建造物の案内

○旧群馬県衛生所（1棟）

所在地 桐生市相生町2丁目416番地
 現在 桐生市立相生公民館
 指定 (国)重要文化財
 昭和51年2月3日指定
 交通機関 東武桐生線相生駅下車1km

○旧アメリカンボード宣教師館（1棟）

所在地 前橋市岩神町2丁目3番1号
 現在 共愛学園保存管理(学園内)
 指定 県指定重要文化財
 昭和53年10月13日
 交通機関 両毛線前橋駅下車3.8km

○旧上毛モスリン事務所（1棟）

所在地 館林市城町(館林城跡)
 現在 館林市保存管理(館林女子高校隣接地)
 指定 県指定重要文化財
 昭和53年10月13日
 交通機関 東武伊勢崎線館林駅下車2.3km

○旧吾妻第三小学校校舎

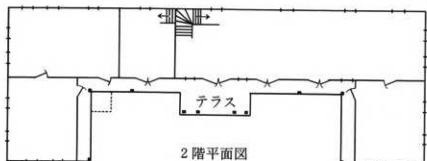
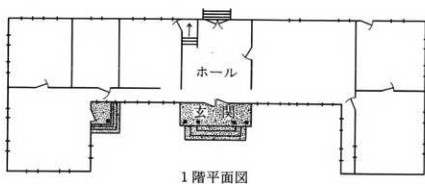
所在地 吾妻郡中之条町中之条947の1
 現在 中之条町保存管理(旧役場)
 指定 県指定重要文化財
 昭和53年10月13日
 交通機関 吾妻線中之条駅下車1.2km

I 公共建造物

No	建造物名	所在地	建築年	構造概要	設計 施工	備 考
1	旧群馬県衛生所	桐生市相生町	M.11	木2	大木組	現 桐生相生公民館 国指定重文
2	前橋刑務所	前橋市南町	M.21	煉		煉瓦の門と塀が残存 雑居房は明治村
3	蚕糸試験場事務棟	前橋市昭和町	M.45	木1		施設は筑波学園都市へ移転
4	桐生倶楽部	桐生市仲町	T.8	木2	清水 巖	保存状態良好
5	旧穀物取引所	太田市本町	T.10	木1	小川組	現 中島記念文庫
6	旧中之条信用組合	中之条町伊勢町	T.11	木2		現 中之条農業協同組合
7	旧金山図書館	太田市本町	T.11	木1	北村常太郎	現 中島記念図書館
8	旧邑楽織物協同組合	館林市仲町	T.13	木2棟張		現 館林織物連合協同組合
9	(日赤)群馬県支部	前橋市大手町	T.14	木2		県庁内所在
10	群馬県庁舎	"	S.2	RC4 (地下共)	佐藤功一 清水組	原型を良く保つ 復興式
11	伊勢崎郵便局	伊勢崎市曲輪町	S.4	RC2	逓信省 佐藤建設	取壊し決定
12	旧県立博物館	富岡市一ノ宮町	S.4	RC3		県管理
13	群馬会館	前橋市大手町	S.5	RC5 (地下共)	佐藤功一 井上工業	原型を良く保つ 復興式
14	旧五料町役場	松井田町五料	S.初	木2		現 五料中部公民館
15	旧桐生市役所別館	桐生市永楽町	S.7	RC3	小川組	現 桐生西公民館
16	桐生織物協同組合	"	S.8	RC2	小川組 小川組	
17	旧沼田郵便局	沼田市上之町	S.8	木2		現 群馬信用組合

(注) M=明治 T=大正 S=昭和 木=木造 煉=煉瓦造 RC=鉄筋コンクリート造り
重文=重要文化財 以下同様

建造物名	旧群馬県衛生所		
所在地	桐生市相生町		
面積	(建坪) 268.9㎡	(延坪) 537.8㎡	竣工 明治11年 8月30日
設計者	伊藤安五郎	施工者	大木組
所有者又管理者	桐生市		
沿革	(当初) 群馬県衛生所	(現状) 相生公民館	
形式	2階建寄棟造瓦葺	構造	木造大壁造下見板張
備考	国指定重要文化財、変形ルネサンス様式		



0 5 (M)

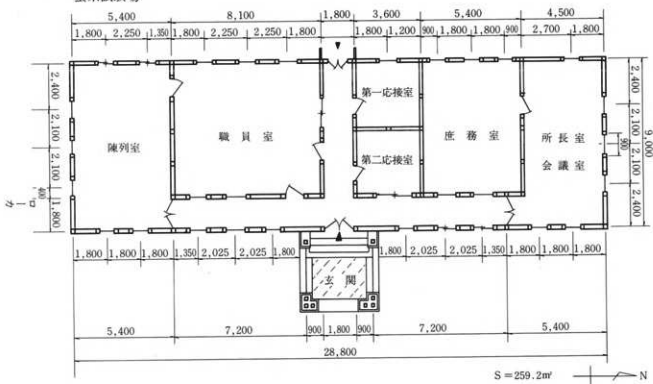
建造物名	前橋刑務所煉瓦塙		
所在地	前橋市南町1-23		
面積	(建坪)	(延坪)	竣工 明治21年 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	前橋刑務所		
沿革	(当初) 刑務所塙	(現状) 刑務所塙	
形式	正門を含む	構造	レンガ造り
備考	全長950mに及び偉容を呈する。雑居房は明治村へ移築。		



建造物名	蜜糸試験場蜜産部事務棟		
所在地	前橋市昭和町3-36-41		
面積	(建坪) 259.2m ²	(延坪) 259.2m ²	竣工 明治45年6月11日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	農林水産省		
沿革	(当初) 原蜜種製造所前橋支所	(現状)	蜜糸試験場蜜産部
形式	平屋建寄棟造瓦葺	構造	木造大壁造横箱目地板張
備考	保存状態良好で、構造も勝れたものである。		



蜜糸試験場



建造物名	田中之条信用組合		
所在地	吾妻郡中之条町伊勢町970		
面積	(建坪) 92.4m ²	(延坪) 184.8m ²	竣工 大正11年 月 日
設計者	不明	施工者	岡村与吉
所有者又管理者	中之条農業協同組合		
沿革	(当初) 中之条信用組合	(現状)	中之条農業協同組合
形式	2階建切妻スレート葺	構造	木造大壁造りモルタル仕上
備考	2階はほぼ原型である。		

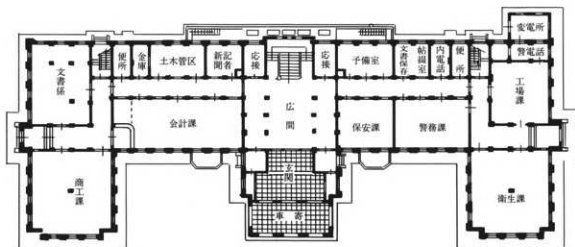


建造物名	群馬県庁舎			
所在地	前橋市大手町1-1-1			
面積	建坪 2136㎡	延坪 8544㎡	竣工	昭和2年 月 日
設計者	佐藤功一		施工者 清水組	
所有者又管理者	群馬県			
沿革	(当初)	(現状)		
	庁舎		庁舎本館	
形式	地下共4階陸屋根		構造 鉄筋コンクリート	
備考	復興式の代表的建造物である。			



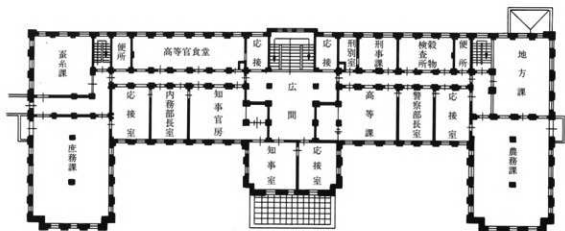
地階平面図(当初の部屋配置、以下同様)

1/600

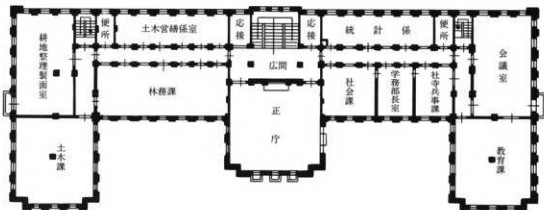


1階平面図

1/600



2階平面図
005



3階平面図
006

建造物名	田群馬車立博物館		
所在地	富岡市一の宮1353		
面積	(建坪)	(延坪)	竣工 昭和4年 月 日
設計者	宮前万平	施工者	宮前万平
所有者又管理者	群馬県		
沿革	(当初) 一の宮町役場	(現状) 閉鎖中	
形式	3階建寄棟造瓦葺	構造	鉄筋コンクリート
備考	当初は2階建、陸屋根であった。		

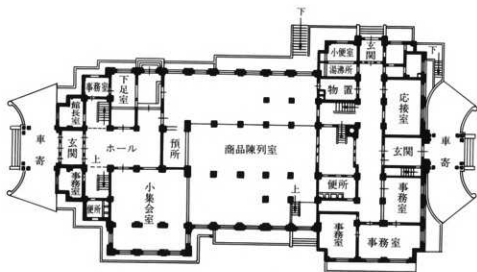


建造物名	群馬会館		
所在地	前橋市大手町2-1-1		
面積	(建坪) 1667㎡	(延坪) 7067㎡	竣工 昭和5年11月11日
設計者	佐藤功一	施工者	井上工業
所有者又管理者	群馬県		
沿革	(当初) 会館	(現状)	会館
形式	地下共5階建陸屋根	構造	鉄筋コンクリート造り
備考	県庁舎と共に代表的な復興式である。		

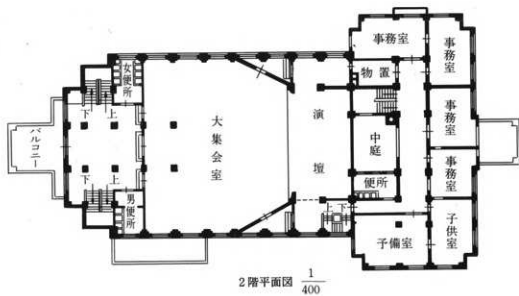


地階平面図 $\frac{1}{400}$

(当初の部屋配置、以下同様)



1階平面図 $\frac{1}{400}$

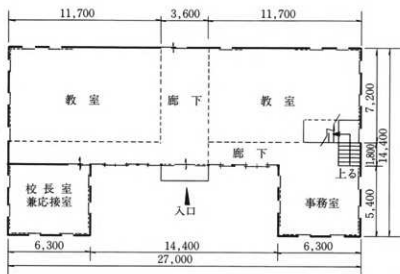


II 学校建造物・教会建造物

No	建造物名	所在地	建築年	構造概要	設計施工	備考
1	旧吾妻第三小学校	中之条町中之条	M.18	木2		県指定重文 中之条町管理
2	旧新町英学校	多野郡新町	M.20	木2		現 カネボー食品工業㈱医局
3	名九多教会	高山村尻高	M.20	木1		
4	旧高山社講堂	藤岡市鷹匠町	M.40	木1		現 藤岡第一小学校講堂
5	万場小学校相原分校	万場町相原	T.1	木2		
6	沼田教会	沼田市西倉内町	T.3	木1	小菅幸三	星野健の遺志で建造
7	安中教会	安中市安中	T.8	石造	古橋柳太郎	湯浅治郎の提唱で建造
8	旧群馬師範校舎	前橋市大手町	T不明	木1		現 宮沢家住宅
9	旧沼田中学校	沼田市十二の木	S.3	RC2		現 沼田高等学校
10	太田小学校講堂	太田市本町	S.4	RC1	北村常太郎	

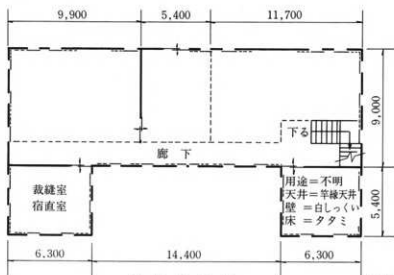


建造物名	旧吾妻第三小学校		
所在地	吾妻郡中之条町中之条947-1		
面積	(建坪) 316.8㎡	(延坪) 633.6㎡	竣工 明治18年 10月 4日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	中之条町		
沿革	(当初) 吾妻第三小学校	(現状) 中之条町管理	
形式	2階建寄棟造妻輪板葺	構造	木造大壁造白漆喰塗
備考	材質がしっかりしており、貴重な明治期の学校建築である。		



1 階 平面図
(推定、当初部屋配置)

96坪



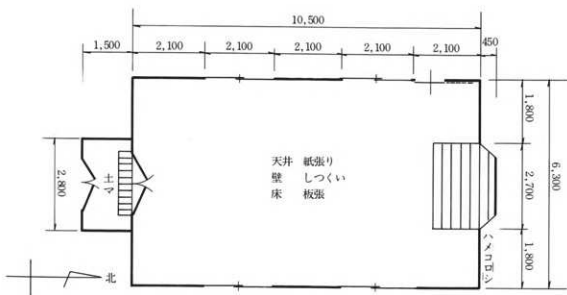
2 階 平面図

96坪

建造物名	田新町英学校		
所在地	多野郡新町2330		
面積	(建坪) (延坪)	竣工	明治20年 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	カネボー食品工業KK.		
沿革	(当初) (現状)	カネボー食品工業医局	
形式	2階建寄棟トタン葺	構造	木造大壁造り下見板張
備考	新町指定史跡		

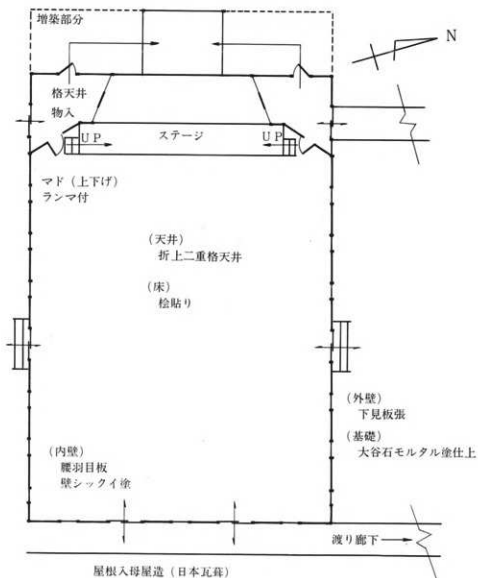


建造物名	名九多教会		
所在地	吾妻郡高山村尻高128		
面積	(建坪) (延坪)	竣工	明治20年 9 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	日本キリスト教団名九多教会		
沿革	(当初) (現状)	教会 教会	
形式	平家建寄棟鉄板葺	構造	木造大壁造り漆喰塗
備考	昭和46年改装。外部に原型をとどめる。		

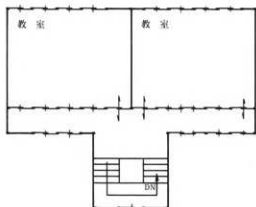
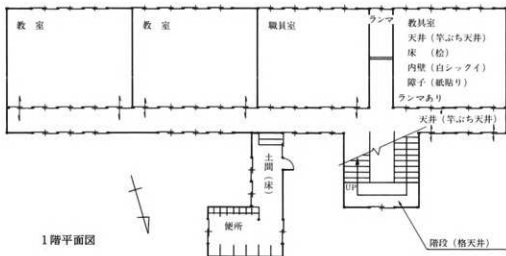


平面図

建造物名	田高山社講堂		
所在地	藤岡市鷹匠町1,567		
面積	(建坪) 423㎡	(延坪) 423㎡	竣工 明治40年 10 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	藤岡市		
沿革	(当初) 高山社講堂	(現状)	藤岡第一小学校講堂
形式	平屋建入母屋造瓦葺	構造	木造大壁造下見板張
備考	開口部廻りのモート付細線、格天井などに特徴を示す。		



建造物名	万場小学校相原分校校舎		
所在地	多野郡万場町相原34		
面積	(建坪) 366㎡	(延坪) 563㎡	竣工 大正1年 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	万場町		
沿革	(当初) 校舎	(現状)	校舎
形式	2階建入母屋造鉄板葺	構造	木造大壁造下見板張
備考	保存状態良好。当初の屋根は板葺であった。		



建造物名	旧沼田中学校		
所在地	沼田市十二の木1510		
面積	(建坪) 1303㎡	(延坪) 3491㎡	竣工 昭和3年 5月 20日
設計者	不明	施工者	井上工業
所有者又管理者	群馬県		
沿革	(当初) 沼田中学校	(現状)	沼田高等学校
形式	3階建陸屋根	構造	鉄筋コンクリート造り
備考	改装されているが数少ない昭和初期の建物		



建造物名	沼田教会		
所在地	沼田市西倉内町663の4		
面積	(建坪)	(延坪)	竣工 大正3年 11月 28日
設計者	不明		施工者 小菅幸三
所有者又管理者	日本キリスト教団沼田教会		
沿革	(当初)	(現状)	
	教会堂	教会堂	
形式	平家建切妻スレート葺	構造	木造大壁造り下見板張
備考	星野健の遺志で建造された。		



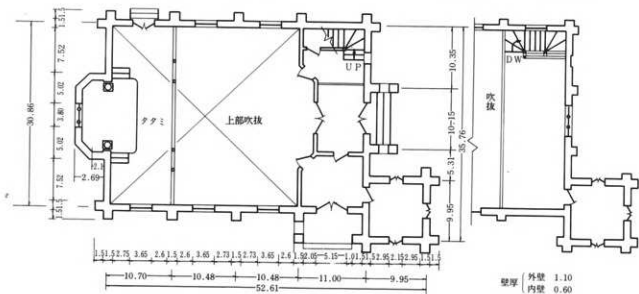
建造物名	安中教会		
所在地	安中市安中3-10-33		
面積	(建坪)	(延坪)	竣工 大正8年 12月 日
	201㎡	201㎡	
設計者	古橋柳太郎		施工者 不明
所有者又管理者	日本キリスト教団安中教会		
沿革	(当初)	(現状)	
	安中教会	安中教会	
形式	平屋建(塔屋を有)瓦葺	構造	石造(大谷石)
備考	勝れた石造教会建築で、内部構造にも見るべきものが多い。		



1階平面図

(単位は尺)

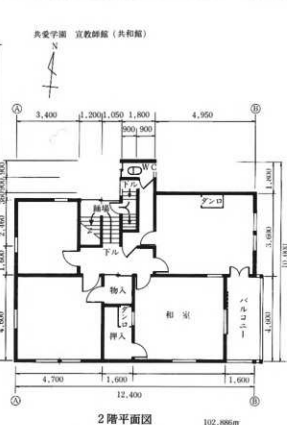
2階平面図



III 住宅建築 (含 医院)

No	建造物名	所在地	建築年	構造概要	設計 施工	備 考
1	旧アメリカンボード 宣教師館	前橋市岩神町	M.30	木2		現 共愛学園共和館 県指 定重文
2	旧 今 村 医 院	伊勢崎市本町	M.37	木2		現 黒羽根医院 保存状態 良好
3	旧 飯 塚 眼 科 医 院	館林市本町	M.41	木2		現 坂上写場所有
4	旧 黒 田 家 別 邸	沼田市西倉内町	T.5	木2		現 吉野家住宅
5	境 内 科 医 院	高崎市田町	T.6	木2		大正期文化住宅の典型
6	藤 江 医 院	桐生市本町	T.10	煉2		
7	田 口 医 院	多野郡新町	T.12	木2	吉 沢 要 助	
8	旧 石 田 家 別 邸	渋川市金井	T.12	木2	イ ガ ノ イ ガ ノ	現 金島公民館
9	永 寿 堂 医 院	館林市本町	T.13	木2	杉山工務店 杉山工務店	
10	旧 大 塚 医 院	館林市仲町	T.13	木2	山野源次郎	現 高橋医院
11	須 藤 家 住 宅	安中市磯部町	T.13	木2	須藤元吉 清水三吉	内部も洋式
12	旧 木 暮 家 別 邸	伊香保町伊香保	T.15	木1		現 宇木家住宅
13	旧 高 平 医 院	中之条町五反田	T不明	木3		現 伊参農業協同組合
14	小 川 家 住 宅	安中市安中	T不明	木2		旧 医院
15	高野産婦人科医院	伊勢崎市平和町	S.2	木2		
16	武井産婦人科医院	松井田町松井田	S.3	木2	県庁の技師 井上工業	
17	森 口 家 住 宅	桐生市宮本町	S.3	木2	吉 田 組 吉 田 組	
18	武内産婦人科医院	太田市本町	S.4	木1	桐生建設	
19	新 井 家 住 宅	館林市西本町	S.5	木2	石 塚 石 塚	
20	柴田裁縫学校住宅	藤岡市鷹匠町	S.8	木2	中井常作 中井常作	

建造物名	田アメリカンボード宣教師館		
所在地	前橋市岩神町2-3		
面積	(建坪) 140㎡	(延坪) 243㎡	竣工 明治30年(頃)月 日
設計者	不明(アメリカ人)	施工者	不明
所有者又管理者	共愛学園		
沿革	(当初) 宣教師住宅	(現状)	共愛学園共和館
形式	2階建切妻造瓦葺	構造	木造大壁造下見板張
備考	本格的木造洋風建造物であり、調度類も勝れている。		

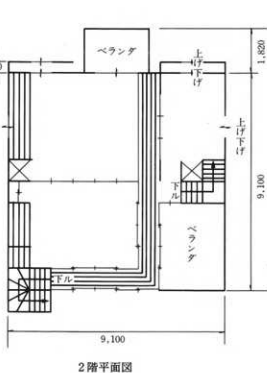


建造物名	田石田家住宅		
所在地	渋川市金井1192		
面積	(建坪) 40.6㎡	(延坪) 78.5㎡	竣工 大正12年 月 日
設計者	(イガノ)	施工者	(イガノ)
所有者又管理者	渋川市		
沿革	(当初) 石田重親別邸	(現状)	金島公民館
形式	2階建切妻銅板葺	構造	木造大壁造りモルタル洗出
備考	応接用別邸として建造されたため材等が良質である。		



III 住宅建築(含医院)

建造物名	田今村医院		
所在地	伊勢崎市本町18		
面積	(建坪) 82.5㎡	(延坪) 165㎡	竣工 明治37年 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	黒羽根医院		
沿革	(当初) 今村医院	(現状)	黒羽根医院
形式	2階建陸屋根銅板葺	構造	木造大壁造下見板張
備考	釘を使用せずに組上げたもので、立派な建物である。		



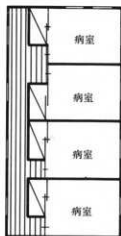
建造物名	須藤家住宅		
所在地	安中市磯部町4-15-16		
面積	(建坪) 23㎡	(延坪) 42.8㎡	竣工 大正13年 月 日
設計者	須藤元吉	施工者	清水三吉
所有者又管理者	須藤元夫		
沿革	(当初) 住宅	(現状)	居住していない。
形式	2階建切妻瓦葺	構造	木造大壁造りモルタル塗
備考	須藤元吉は澤米25年の経験を生かし、米国風の生活様式を導入。		



建物名	境内科医院						
所在地	高崎市田町140						
面積	(建坪)	(延坪)	竣工	大正6年	月	日	
	77.8㎡	136.1㎡					
設計者	不明		施工者	不明			
所有者又管理者	境内科医院						
沿革	(当初)	境内科医院				(現状)	境内科医院
形式	2階建変形切妻瓦葺		構造	木造大壁造モルタル塗			
備考	保存状態が良く、大正期の文化住宅の典型である。						



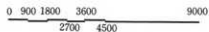
1階平面図



2階平面図



Scale

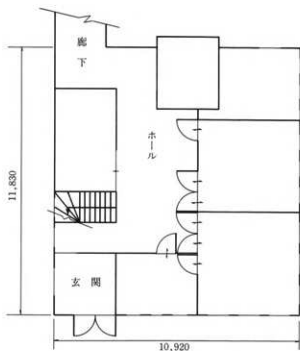


建造物名	田高平医院						
所在地	吾妻郡中之条町五反田3538の1						
面積	(建坪)	(延坪)	竣工	大正	年	月	日
	193㎡	523㎡					
設計者	不明		施工者	不明			
所有者又管理者	伊参農業協同組合						
沿革	(当初)	高平医院				(現状)	伊参農業協同組合
形式	3階建方形亜鉛板葺		構造	木造洋喰 (正面大壁、側面真壁)			
備考	吾妻町原町より昭和18年に移築改造						

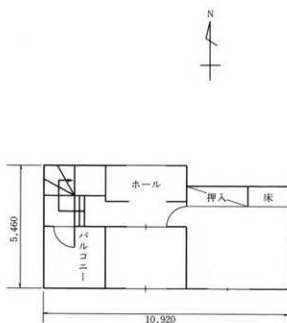


III 住宅建築 (含医院)

建造物名	高野産婦人科医院		
所在地	伊勢崎市平和町14		
面積	(建坪) 129.2㎡	(延坪) 188.8㎡	竣工 昭和2年 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	高野辰男		
沿革	(当初) 高野産婦人科医院	(現状)	高野産婦人科医院
形式	2階建寄棟造瓦葺	構造	木造大壁洗出し
備考			



1階平面図



2階平面図

建造物名	田木暮家別邸		
所在地	北群馬郡伊香保町191		
面積	(建坪) 77.7㎡	(延坪) 77.7㎡	竣工 大正15年 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	宇木京子		
沿革	(当初) 木暮家別邸	(現状)	宇木家住宅
形式	平家建変形切妻トタン葺	構造	木造大壁造りモルタル塗
備考			

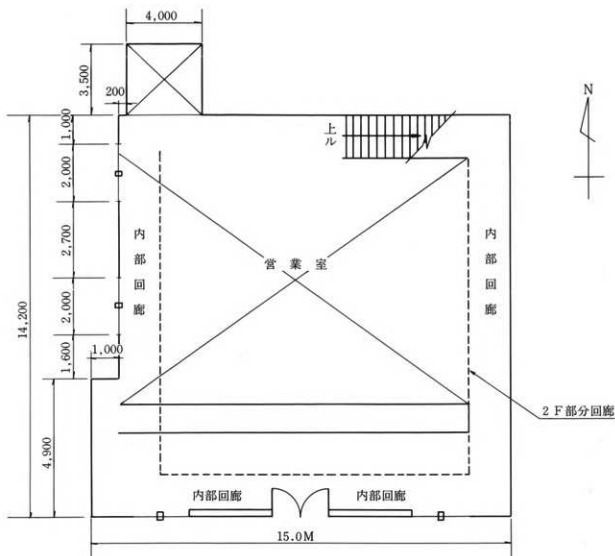


IV 店舗建築（含銀行等）

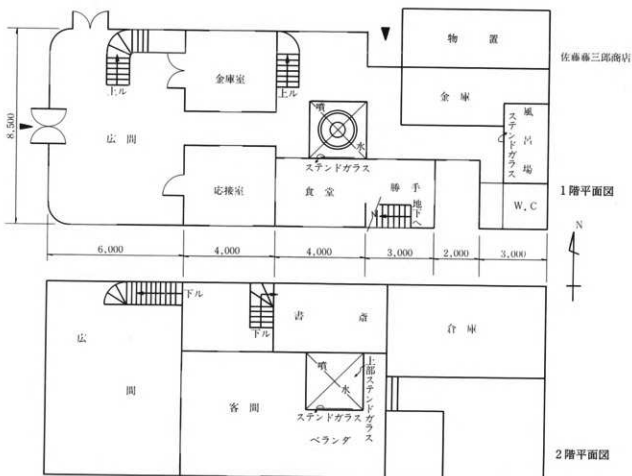
No	建造物名	所在地	建築年	構造概要	設計施工	備考
1	旧東海銀行支店	桐生市本町	T.3	煉2		現 桐生信用金庫本町支店
2	旧新田銀行本店	桐生市本町	T.6	煉2	小林力雄 小川組	現 群馬銀行太田西支店
3	金善ビル	桐生市本町	T.10	RC4		現 モーターボート競走会
4	しまや化粧品店	沼田市下之町	T.11	木2	西 山 西 山	
5	旧安田銀行支店	伊勢崎市本町	T.11	RC2		現 足利銀行伊勢崎支店
6	岡崎醤油	多野郡新町	T.12	木2	井上工業	
7	旧佐藤三郎商店	伊勢崎市曲輪町	T.13	木2	佐藤源六 佐藤建設	現 王国会館
8	井下時計店	伊勢崎市本町	T.13	木2	佐藤源六 佐藤建設	
9	中沢豊七商店	伊勢崎市本町	T.13	木3	織本道三郎 佐藤建設	
10	旧下仁田銀行本店	下仁田町下仁田	T.14	RC2		現 群馬銀行下仁田支店
11	旧沼田貯蓄銀行	沼田市村木町	T不明	木2		現 利根沼田酪農連合会
12	旧沼田貯蓄銀行 駅前支店	沼田市清水町	T不明	石2		現 高木商店
13	岡村時計店	伊勢崎市本町	S.2	木2		
14	藍原紙器製作所	桐生市本町	S.3	木3	小川組 小川組	
15	かどや薬局	館林市本町	S.4	木2	飯塚 飯塚	
16	近藤理髪店	太田市本町	S.5	木1	根岸基祐	
17	足利銀行伊勢崎支店	伊勢崎市本町	S.6	RC1	小川組	
18	山喜地共同建築	桐生市永楽町	S.初	木1		初期のマーケット建築

IV 店舗建築（含銀行等）

建造物名	田安田銀行伊勢崎支店				
所在地	伊勢崎市本町1				
面積	(建坪) 220㎡	(延坪) 316.8㎡	竣工	大正11年	月 日
設計者	不明		施工者	不明	
所有者又管理者	足利銀行				
沿革	(当初) 安田銀行、富士銀行		(現状) 足利銀行伊勢崎支店		
形式	2階建陸屋根		構造	鉄筋コンクリート造り	
備考	保存状態良好				

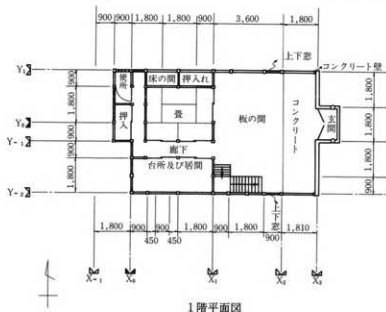


建造物名	旧佐藤藤三郎商店				
所在地	伊勢崎市曲輪町31				
面積	(建坪) 193㎡	(延坪) 374㎡	竣工	大正13年 月 日	
設計者	佐藤源六		施工者	佐藤建設	
所有者又管理者	佐藤家				
沿革	(当初) 商店	(現状) 王国会館			
形式	2階建陸屋根		構造	鉄筋コンクリート造り	
備考	良質な建具等を含む。				



IV 店舗建築（含銀行等）

建造物名	旧沼田貯蓄銀行		
所在地	沼田市材木町221の1		
面積	(建坪) 79.2㎡	(延坪) 158.4㎡	竣工 大正 年 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	利根沼田町村会		
沿革	(当初) 沼田貯蓄銀行	(現状) 利根沼田酪農連合会事務所	
形式	2階建寄棟造瓦葺	構造	木造大壁造下見石貼
備考	建立当初の様式がかなり残っている。		



1階平面図



2階平面図

建造物名	旧沼田貯蓄銀行駅前支店		
所在地	沼田市清水町4229		
面積	(建坪) 70.13㎡	(延坪) 99㎡	竣工 大正(中期)年 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	高木千代		
沿革	(当初) 沼田貯蓄銀行	(現状) 高木商店	
形式	2階建寄せ棟造瓦葺	構造	木骨石造
備考	竣工時期については、所有者からの開書で資料はない。		



V 工場関係建造物

No	建造物名	所在地	建築年	構造概要	設計施工	備考
1	旧富岡製糸場 ブリュナー館	富岡市富岡	M.5	木骨煉1	バスチャン 大 蔵 省	現 片倉工業富岡工場 貴重
2	二 号 館	"	"	" 煉2	" "	"
3	三 号 館	"	"	" 煉2	" "	"
4	練 糸 所	"	"	" 煉2	" "	"
5	(二棟)蔵倉庫	"	"	" 煉2	" "	"
6	旧新町層糸紡績所 事務所	多野郡新町	M.10	木2		現 カネボー食品新町工場 貴重
7	練 糸 工 場	"	"	木1	フランス人	"
8	工 作 紙 力 室	"	"	煉1		"
9	書 類 庫	"	M.27	煉2	フランス人	"
10	ボ イ ラ ー 室	"	M.39	煉1		"
11	製 品 倉 庫	"	M.43	煉1		"
12	シルクハウス	"	T.10	木2		"
13	ボ ン プ 室	"	T.10	木1		"
14	旧館林製粉事務所	館林市栄町	M.33	木2		現 日清製粉記念館 維持管理良好
15	旧上毛モスリン事務所	館林市城町	M.42	木2		県指定重文 館林市管理
16	上毛燃糸神明工場	前橋市大手町	T.1	煉1	イタリア人	練業していないが原型を良く保つ
17	日本製粉高崎工場	高崎市下和田町	T.8	木5	大 竹 組 大 竹 組 浪 花 組 浪 花 組	練業中の大型木造建築
18	久保田兄弟鉄工所	伊勢崎市平和町	S.2	木2	佐藤源六 佐藤建設	

建造物名	旧富岡製糸場第2号官舎 (通称2号館)		
所在地	富岡市富岡1		
面積	(建坪) 342㎡	(延坪) 683㎡	竣工 明治5年7月 日
設計者	E. A. Bastien	施工者	責任者 尾高悳忠
所有者又管理者	片倉工業K. K. (富岡製糸所)		
沿革	(当初) 官舎	(現状)	事務室等
形式	2階建寄棟造瓦葺	構造	木骨レンガ造り
備考			



建造物名	旧富岡製糸場第3号官舎 (通称3号館)		
所在地	富岡市富岡1		
面積	(建坪) 197㎡	(延坪) 394㎡	竣工 明治5年7月 日
設計者	E. A. Bastien	施工者	責任者 尾高悳忠
所有者又管理者	片倉工業K. K. (富岡製糸所)		
沿革	(当初) 官舎	(現状)	事務棟
形式	2階建寄棟造瓦葺	構造	木骨レンガ造り
備考			



建造物名	旧富岡製糸場繰糸所		
所在地	富岡市富岡1		
面積	(建坪) 1727㎡	(延坪) 3453㎡	竣工 明治5年7月 日
設計者	E. A. Bastien	施工者	責任者 尾高悳忠
所有者又管理者	片倉工業K. K. (富岡製糸所)		
沿革	(当初) 繰糸所	(現状)	繰糸所
形式	2階建切妻造瓦葺	構造	木骨レンガ造り
備考			



建造物名	旧富岡製糸場織倉庫 (東西両棟)		
所在地	富岡市富岡1		
面積	(建坪) 東 1710㎡	(延坪) 3420㎡	竣工 明治5年7月 日
設計者	E. A. Bastien	施工者	責任者 尾高悳忠
所有者又管理者	片倉工業K. K. (富岡製糸所)		
沿革	(当初) 倉庫	(現状)	倉庫
形式	2階建切妻造瓦葺	構造	木骨レンガ造り
備考			



新町屑糸紡績所について

- 明治10年(1877) (官営)屑糸紡績所
- " 15" (1882) (") 新町紡績所
- " 20" (1887) 三井へ払下げ
- " 44" (1911) 鐘淵紡績㈱
- 昭和50" (1975) カネボウ食品工業㈱

富岡製糸場とよく似た歴史を歩んできたが、昭和50年以來、製糸・紡績工場としての機能を停止し、食品工場となっている。

建物群は、明治10年までに一挙に完成したものでは

なく、屑繭の利用という目的により紡績関連部門が当初造られている。明治16年頃出された木版画によると(別掲)、現在残存している建物及び建物配置とかなりの相違がみられる。その後の工場の目的の変化をよく物語っていると考えられる。

また、礎石材料として烏川の河原石を利用したことを示す文書が残っている(資料参考)。

富岡製糸場と共に産業史の上でも欠かすことのできない貴重な明治の遺構である。

(資料)

○明治九年の新町工場建設用礎石の

採取に関する文書

以書附奉申上候

第十五大区二小区緑野郡森新田役人総代

戸長水野弥平次奉申上候 今般別業之通

御用石之義ニ付新町駅動業寮屑糸紡績所ヨリ

御書附頂戴仕候得者未ダ当御序ヨリ御達シ

無之候 殊ニ郡方地内河原之石ヲ当年三

月ヨリ日々馬又は船等ニテ御同所工御持

運ヒ被成旁々此上右様ニテは堤防ニ差支

候者服前之義始ヨリ困却仕候間 何卒是

迄ニテ御持運ヒ無之様に成下急度奉願以上

右村

立会人

宮下 庄吉

副戸長

宮下 庄次郎

戸長

水野弥平次

明治16年の木版画



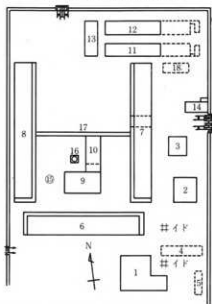
富岡製糸場について

- 明治5年(1872)7月 建造物完成。
 - "同" 10月 操業開始(官営工場)
 - "26"(1893) 三井へ払下げ
 - "35"(1902) 原名名会社
 - 昭和13"(1938) 片倉製糸会社
- 片倉工業として現在に至る

このように、1872年に官営模範工場として発足して以来、1世紀以上にわたり一貫して製糸工場として活動してきたが、加えて、この長年月の間、操糸所、東西兩置倉庫等の建物群が当初の状態を良く保ち、十分機能しつゝ現在に至っている。工場建造物として、このような歴史を歩んできた例は全国的にも希有であり、明治初期の産業遺構としての意義は極めて大きい。

建造物は、安中市秋間から産した石基礎の上に木造トラスを組み、目地用モルタルとしてシックイを用いて煉瓦を積んだ「木骨レンガ造り」である。

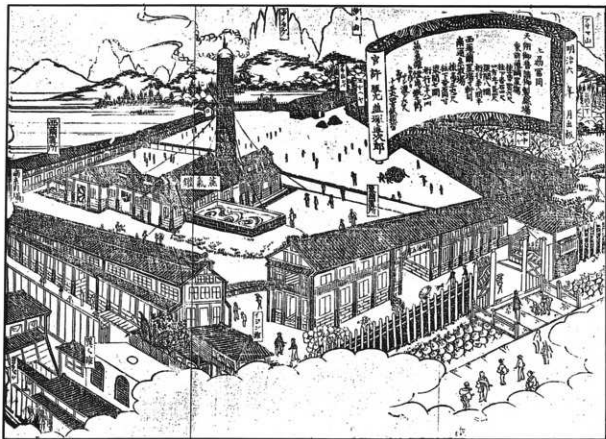
当初富岡製糸場建造物配置図



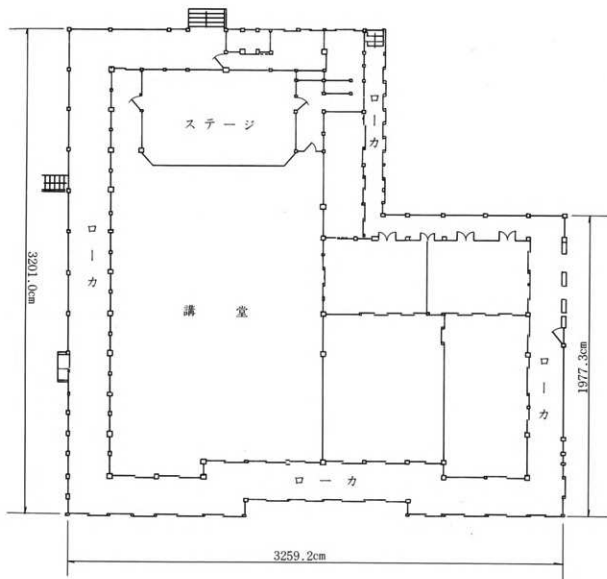
- ①: 第一号官舎 ②: 東兩置倉庫 ③: 軸所
- ④: 第2号官舎 ⑤: 西" ⑥: 門衛所
- ⑦: 第3号官舎 ⑧: 蒸気機庫 ⑨: 排水槽
- ⑩: 第4号官舎 ⑪: 蒸殺所 ⑫: 煙突
- ⑬: 第5号官舎 ⑭: 工女宿舎 ⑮: 大廊下
- ⑯: 練糸所 ⑰: " ⑱: 工女病室

○印は現存建造物

明治6年の木版画



建造物名	田富岡製糸場第1号官舎（通称、ブリュナー館）		
所在地	富岡市富岡1		
面積	(建坪) 861㎡	(延坪) 861㎡	竣工 明治5年 7月 日
設計者	E. A. Bastien	施工者	責任者 尾高惇忠
所有者又管理者	片倉工業K. K. (富岡製糸所)		
沿革	(当初) 官舎	(現状)	ホール
形式	平家建寄棟造瓦葺	構造	木骨レンガ造り
備考	当初は外国人技術者の官舎であり、地下室もある。		

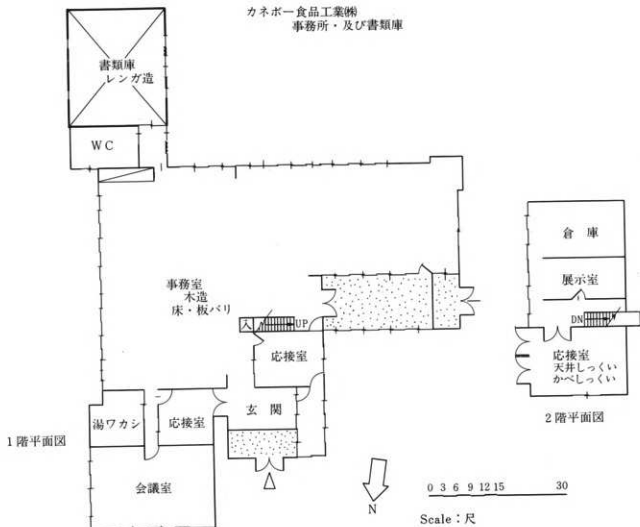


ブリュナー館（現状平面図）

建造物名 田新町層糸紡績所事務所			
所在地 多野郡新町2330			
面積	(建坪)	(延坪)	竣工 明治10年 月 日
	474㎡	553㎡	
設計者			施工者
所有者又管理者	カネボー食品工業K. K. (新町工場)		
沿革	(当初)	(現状)	
	事務所	事務所	
形式	2階建切妻造トタン葺	構造	木造大壁造り下見板張
備考	当初に対して、増築部分が多い。		



カネボー食品工業(株)
事務所・及び書類庫



建造物名 田新町屑糸紡績所軸糸工場			
所在地 多野郡新町2330			
面積	(建坪)	(延坪)	竣工 明治10年 月 日
設計者	フランス人技師		施工者
所有者又管理者 カネボー食品工業K. K. (新町工場)			
沿革	(当初)	(現状)	
軸糸工場		使用せず	
形式	平家建切妻造瓦葺	構造	木造大壁造り下見板張
備考 力強い工場建築で重量感がある。			



建造物名 田新町屑糸紡績所工作鉢力室			
所在地 多野郡新町2330			
面積	(建坪)	(延坪)	竣工 明治10年 月 日
設計者			施工者
所有者又管理者 カネボー食品工業K. K. (新町工場)			
沿革	(当初)	(現状)	
工作室		使用せず	
形式	平家建寄棟造トタン葺	構造	レンガ造り(越屋根付)
備考 地下室があり、明治20年代に使用されたエンジン基礎がある。			



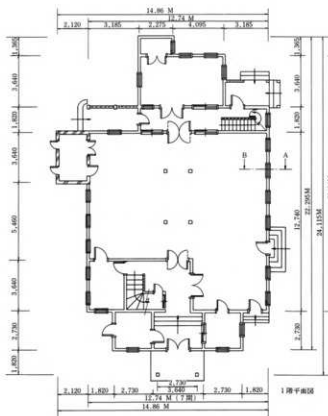
建造物名 田新町屑糸紡績所ボイラー室			
所在地 多野郡新町2330			
面積	(建坪)	(延坪)	竣工 明治39年 月 日
設計者			施工者
所有者又管理者 カネボー食品工業K. K. (新町工場)			
沿革	(当初)	(現状)	
ボイラー室		使用せず	
形式	平家建切妻造トタン葺	構造	レンガ造り(イギリス積)
備考 写真手前の円型レンガ積は煙突跡である。			



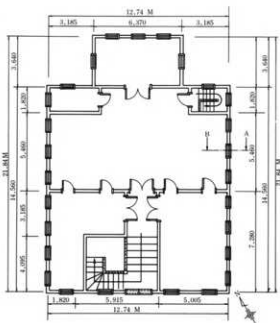
建造物名 上毛糸糸神明工場			
所在地 前橋市大手町3-17			
面積	(建坪)	(延坪)	竣工 大正元年 月 日
	201.3㎡	201.3㎡	
設計者	(イタリア人)		施工者 不明
所有者又管理者 上毛糸糸株式会社 (前橋市六供町370)			
沿革	(当初)	(現状)	
上毛糸糸神明工場			
形式	平家建ノコギリ屋根	構造	木骨レンガ造り
備考 現在は休業していない。			



建造物名	旧上毛モスリン株式会社事務所		
所在地	館林市城町1-11		
面積	(建坪) 255.06㎡	(延坪) 463.78㎡	竣工 明治42年 12月 19日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	館林市		
沿革	(当初)	(現状)	
	上毛モスリン会社	館林市管理	
形式	2階建瓦葺	構造	木造大壁造り下見板張
備考	県指定重要文化財。昭和54～55年、移転保存修理。		



1階平面図



2階平面図

建造物名	日本製粉高崎工場製粉工場本館		
所在地	高崎市下和田町4-1-16		
面積	(建坪) (延坪)	竣工	大正8年 4月 10日
設計者	不明	施工者	大竹組、浪花組
所有者又管理者	日本製粉株式会社		
沿革	(当初)		
	日本製粉高崎工場	(大正9年東洋製粉と合併)	
形式	5階建窓型切妻垂鉛板葺	構造	木造大壁造り下見板張
備考	保存状態良好。		



VI 倉庫その他の建造物

No	建造物名	所在地	建築年	構造概要	設計 施工	備 考
1	確水第三アーチ	確水峠	M.26	煉橋梁	パウネル 本間英一郎	通称「めがね橋」
2	大野屋煉瓦倉	安中市安中町	M.26	煉2		
3	横川機関車庫	松井田町横川	M.33	煉1		取壊し予定
4	旧陸軍兵舎	高崎市高松町	M.38	木2		現みどり幼稚園 取壊し 決定
5	丸山変電所蓄電池室	松井田町横川	M.45	煉1		
6	高崎倉庫	高崎市大橋町	T.初	煉1		2号、3号倉庫
7	旧吾妻倉庫	中之条町伊勢町	T.3	煉		1号、2号、5号倉庫 現 光山倉庫
8	消防署望楼	伊勢崎市曲輪町	T.4	煉	佐藤嘉市 佐藤建設	景観良好
9	上毛倉庫	前橋市若宮町	T.6	煉		
10	高崎駅本屋	高崎市八島町	T.7	木1		取壊し決定
11	境運輸倉庫	佐波郡境町	T.7	煉		
12	下仁田倉庫	下仁田町下仁田	T.9	煉		1号、2号倉庫
13	野田六商店煙突	安中市板鼻	T.11	煉		高さ22m
14	野田六商店倉庫	"	T.11 (頃)	煉2		
15	富岡倉庫	富岡市富岡	T.12 (頃)	煉2		
16	旧上丹生製糸組合倉庫	富岡市上高瀬	T不明	煉		現 丹生製糸農業協同組合
17	前橋駅本屋	前橋市表町	S.2	木1		
18	矢島家倉庫	抄巻町下高田	S.2	煉2		
19	桐生駅本屋	桐生市末広町	S.2	木1 (1部2F)		
20	旧小幡町蚕糸組合倉庫	甘楽町小幡	S.4	煉2	小林(某)	現 甘楽町農業協同組合
21	城町の望楼	富岡市富岡	S.6	木		現 江原時計店
22	旧上高瀬製糸組合倉庫	富岡市上高瀬	S.7	煉	吉沢(某)	現 小間金属工業

建造物名	(信越本線) 碓氷第3アーチ		
所在地	碓氷峠		
面積	(建坪)	(延坪)	竣工 明治26年 4 月 日
設計者	パウエル本間英一郎	施工者	不明
所有者又管理者	高崎鉄道管理局		
沿革	(当初)	(現状)	
	鉄道橋	使用されず	
形式	アーチ(全長81.4m)	構造	レンガ造り
備考	昭和38年のアプト式廃止により使用されず		



建造物名	大野屋レンガ倉		
所在地	安中市安中		
面積	(建坪)	(延坪)	竣工 明治26年 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	石井寿郎(安中市安中4-3-2)		
沿革	(当初)	(現状)	
	米の倉庫	物置	
形式	平家建切妻瓦葺	構造	レンガ造り
備考	使用目的が米の保管ということで珍しい。		



建造物名	横川機関車庫		
所在地	碓氷郡松井田町横川甲458-2		
面積	(建坪) 236m ²	(延坪) 236m ²	竣工 明治33年 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	高崎鉄道管理局		
沿革	(当初)	(現状)	
	機関車庫	機関車庫	
形式	平家建切妻スレート葺	構造	レンガ造り
備考			



建造物名	旧陸軍兵舎		
所在地	高崎市高松町10		
面積	(建坪)	(延坪)	竣工 明治38年 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	(学校法人) 高井学園		
沿革	(当初)	(現状)	
	高崎歩兵連隊兵舎	みどり幼稚園	
形式	2階建寄棟瓦葺	構造	木造大壁造り下見板張
備考	旧軍関係建造物としては県内唯一のもの。		



建造物名	丸山変電所蓄電池室		
所在地	碓氷郡松井田町（信越線沿線）		
面積	(建坪) 435㎡	(延坪) 435㎡	竣工 明治45年 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	高崎鉄道管理局		
沿革	(当初) 蓄電池室	(現状)	昭和3年以来使用されず。
形式	平家建切妻スレート葺	構造	レンガ造り
備考	荒廃著しいが、建物は良質であった。		



建造物名	丸山変電所機械室		
所在地	碓氷郡松井田町（信越線沿線）		
面積	(建坪) 343㎡	(延坪) 343㎡	竣工 明治45年 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	高崎鉄道管理局		
沿革	(当初) 変電所機械室	(現状)	使用されず
形式	平家建切妻スレート葺	構造	レンガ造り
備考	昭和3年電源を電力会社直通に切り替えたため使用されず。		



建造物名	富岡倉庫・1号倉庫		
所在地	富岡市富岡1450		
面積	(建坪)	(延坪)	竣工 大正12年 月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	富岡倉庫K、K。		
沿革	(当初) 倉庫	(現状)	倉庫
形式	2階建寄棟瓦葺	構造	レンガ造り
備考	管理状態良好		



建造物名	旧小幡町農業組合倉庫		
所在地	甘楽郡甘楽町小幡甲-854		
面積	(建坪)	(延坪)	竣工 昭和4年 月 日
設計者	小林(旧小幡農学校)	施工者	不明
所有者又管理者	甘楽町農業協同組合		
沿革	(当初) 倉庫	(現状)	倉庫
形式	2階建切妻瓦葺	構造	レンガ造り
備考	管理良好。		

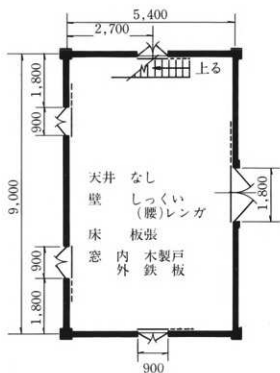


VI 倉庫その他の建造物

建造物名	田吾妻倉庫（5号）		
所在地	吾妻郡中之条町伊勢町942		
面積	(建坪) 49.5㎡	(延坪) 99㎡	竣工 大正3年4月 日
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	小淵ちよ		
沿革	(当初) 吾妻倉庫	(現状)	光山倉庫
形式	2階建切妻鉄板葺	構造	木骨煉瓦造
備考	他に、平屋建の1号、2号倉庫がある。		



5号倉庫



1階平面図

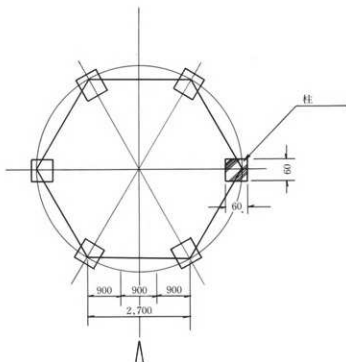


2階平面図

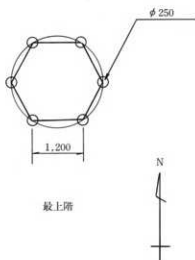


建造物名	消防署望楼		
所在地	伊勢崎市曲輪町28-23		
面積	(建坪) (延坪)	竣工	大正4年 月 日
設計者	佐藤嘉市	施工者	佐藤建設
所有者又管理者	伊勢崎市消防署		
沿革	(当初) 望楼	(現状)	望楼
形式	六角屋根板葺	構造	木骨レンガ造り塔建築
備考	焼通レンガ使用の重量感のある塔建築である。		

望 楼



最下階



最上階

建造物名	下仁田倉庫・1号倉庫		
所在地	甘楽郡下仁田町下仁田430の1		
面積	(建坪) (延坪)	竣工	大正(未)年 月 日
	80.9㎡ 161.7㎡		
設計者	不明	施工者	不明
所有者又管理者	下仁田倉庫K, K.		
沿革	(当初) 倉庫	(現状)	倉庫
形式	2階建切妻瓦葺	構造	レンガ造り
備考	管理良好		



群馬県の洋風建造物

昭和55年3月20日 印刷

昭和55年3月31日 発行

発行 群馬県教育委員会

〒371 前橋市大手町一丁目1の1

☎ 0272-23-1111(代表)

編集 群馬県教育委員会文化財保護課

印刷 朝日印刷工業株式会社
